

サシバエは今から対策を！

酪農の技術指導業務が家畜保健衛生所に

平成27年4月から、酪農全般について一元的に対応できるよう、畜産技術振興センター技術指導担当の酪農業務を家畜保健衛生所に統合しました。

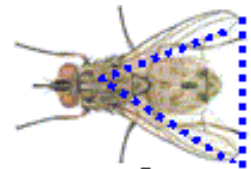
これにより、家畜保健衛生所が、今までの疾病対策や衛生指導に加え、乳用牛の飼養管理技術や改良等に関する業務を行いますので、お困りのことなど何でも気軽に御相談ください。

農場で発生するハエによるストレスは、乳牛にも人間にも悪影響を与えます。対策は、ハエの種類と発生時期に応じて行う必要があります。

(1) ハエの種類

・畜舎で発生する主なハエは、「サシバエ」と「イエバエ」の2種類あります。

・サシバエは、ストレスや痛みの原因になるばかりか、牛白血病やサルモネラ症などの感染症も媒介します。



サシバエ

- ・羽は正三角形
- ・体色は灰色

(2) サシバエ対策は春からスタート

・対策のポイントは、ウジの段階で個体数を増やさないことです。

・越冬した個体が増える前に対策が必要なので、対策は春から始めましょう。



イエバエ

- ・羽は二等辺三角形
- ・体色は黒

(3) サシバエの発生源対策

・主な発生源は、有機物があり水分が多く(60~80%)、牛に踏まれにくい場所です。よく掃除する場所では、発生しません。

・糞便や残飼はこまめに除糞や掃除を行い、個体の増加を防ぎましょう。

・発生源を除去できない場所には、ウジの発生頻度に応じ、IGR剤や殺ウジ剤を散布(毎週・隔週・毎月)しましょう。

・牛舎周辺の草を刈り、サシバエの休憩場所を無くしたり、牛体に直接かける殺虫剤も効果的です。

・薬剤の使用はポジティブリスト制度に対応するためにも、用法、用量、休薬期間を守り、使用記録をつけましょう。

(4) ハエが大量発生した場合

・即効性のあるピレスロイド系殺虫剤、有機リン系殺虫剤及び両者混合の殺虫剤を空間噴霧。ただし、牛体にも噴霧できる薬剤は限られているので、説明書の確認が必要です。

・散布は早朝、夕方、夜間が効果的です。

・同じ種類の薬剤のみ使用すると耐性がつくので、例えば有機リン系→カーバメイト系→ピレスロイド系といったように何種類か使い分けましょう。

滋賀県家畜保健衛生所

(本所) 近江八幡市西本郷町226-1
Tel: 0748-37-7511, Fax: 0748-37-4821
緊急携帯: 090-3613-7486

◆ (北西部支所) 高島市今津町弘川249-1
◆ Tel: 0740-22-2145, Fax: 0740-22-6681
◆ 緊急携帯: 080-6176-8052